チケット不正転売禁止法の施行による

中古チケット市場の価格高騰抑制効果の分析

提案者 小須田明

## RQ

「チケット不正転売禁止法の施行は（施行目的とは裏腹に）社会厚生を減少させるのか」

## RQの意義・背景

* 今日、コンサートや舞台の稀少性の高いチケットの高額転売が問題視されている。転売行為の抑制目的から中古市場における2019/6/14に「チケット不正転売禁止法」が施行された。
* 禁止法の施行により「本当に欲しい消費者にチケットが行き渡る」ことが主要な目的とされているが、「本当に欲しい消費者」とは誰なのか疑問であり、実際には限界支払い用意の低い消費者にチケットが流通しやすくなることによって、社会厚生が減少するのではないかと懸念される。
* 中古チケット市場のチケット価格帯を分析し、価格の高騰抑制効果を確認することで、法施行が市場原理を妨げ、社会厚生を減少させていることが論じられると考えた。

## 分析手法

* 中古チケット販売サイト「チケット流通センター」から、アーティストごとのチケット価格のパネルデータを取得。
* ジャニーズグループ(若者に人気が高く限界支払い用意の変動が大きいと思われるグループ)と演歌グループ(変動が少ないと思われるグループ)で、法施行前後のDID分析を行う。

### 想定する価格モデル

*チケット価格 = α + β\_1 \* 法施行前後ダミー + β\_2 \* アーティストグループダミー(ジャニーズか演歌か)\* + β\_3 \* ライブまでの残り日数 + 誤差項*

### 分析対象アーティスト:チケット流通センターより

ジャニーズJr/NEWS/Sexy Zone/Kis My FT2/

演歌(アーティスト単位では標本数不足と判断し、演歌ジャンルとして換算)